

履修モデル（文学部 歴史地理学科）

【履修モデルとは…】
学部学科では、ディプロマ・ポリシーやカリキュラム・ポリシーに基づき、「養成する人材像」を定めています。
学部学科には様々な科目が用意されていますが、「養成する人材像」を目指す上で、いつ（学年）、どのような科目を、どのような順に学んでいくか、履修したらいいかを明示しているものが「履修モデル」です。
学生の皆さんはこれを参考に、自らの目標・目的に従って授業を選択し、履修してください。

学部・学科名	文学部・歴史地理学科	対象入学年度	2025年度入学生
ディプロマ・ポリシー	文学部歴史地理学科では、客観的な視点から人間や社会、風土や環境を眺め、深く理解して、その成果を自らの日常生活や社会生活において応用できる人材の育成を目指しています。 歴史地理学科では、教育課程の編成・実施方針(カリキュラム・ポリシー)に従い履修規程に定められた科目区分毎の卒業必要単位数および専攻別の履修要件をすべて満たし、厳格な成績評価を経ることにより、総計124 単位以上を修得した学生に対して卒業判定を行い、学位(学士(文学))を授与します。「卒業論文」は必修で、学生が自分でテーマを決め、資料・実地調査を行い、これに基づいた解釈、先行文献との比較を通して、自分なりの結論を導き出します。「卒業論文」については、論文審査と口述試験を行うことで評価します。学生が学位の取得を目指して科目の履修及び修得を積み重ねることで、以下の能力を身につけることを教育目標とします。 (1) 歴史学や地理学に関わる専門的知識を有し、必要に応じて運用できる能力 (2) 調査をする能力 (3) 資料・データを解釈・分析する能力 (4) 問題を発見し、テーマをみつける能力 (5) ものごとを自分なりに考え、新たなものを創造し表現する能力 (6) 社会や文化についての素養をもち、多様性を理解しつつ、主体的に行動する能力 (7) 他者とコミュニケーションし対話する能力		
カリキュラム・ポリシー	文学部歴史地理学科では、教育研究上の目的及び学位授与方針(ディプロマ・ポリシー)で示す人材育成の実現のために、以下の方針に沿ってカリキュラムを作成しています。 (1) コミュニケーション能力、情報処理能力、基本的な思考方法や総合的な判断能力を養成するため「外国語」「数理・情報」「自然」「社会」「人文」「総合」「スポーツ・健康」の分野による共通教養科目を設けます。 (2) 1年次生の専門教育科目では、全員が履修する「文学部総合研究」の中で文学部の各専攻の学問の基礎に触れ、文学部全体の学問を見渡すことで歴史学・地理学を専攻する学生としての広い視野を得ます。それに加えて歴史地理学科の導入科目として「入門講義(歴史・地理学)」と「入門演習(日本史学、世界史学、地理学)」を学部選択必修科目として設け、関心のある専攻の学問領域に触れる機会を提供します。また、歴史学・地理学の学史・方法論を中心とした概説科目「歴史学総論」「地理学総論」を1年次に開設して早期の履修を促します。 (3) 学生は、上記(1)(2)の導入科目を踏まえ、2年次から3専攻(日本史学専攻、世界史学専攻、地理学専攻)のいずれかに所属します。専攻に所属してからは、歴史学・地理学を体系的に学ぶため、学科必修科目の「歴史・地理学演習」「歴史・地理学特殊講義」、講読などの学科選択必修科目と学科選択科目を履修します。 講義・演習・実習等の授業形態と、少人数教育・アクティブラーニング・PBL などの多様な教育方法を組み合わせて実施することで、学術分野の特徴を活かした教育課程の展開と自発的な学修の促進を図ります。		

履修モデル	日本史学専攻
養成する人材像	日本の社会・文化や歴史に関する素養を基盤にしながら、事実に基づいて物事を論理的に考え、日本の社会や地域の諸問題に対応できる人材の育成を目指します。

		1年次				2年次				3年次				4年次				合計単位
		第1セメスター	単位	第2セメスター	単位	第3セメスター	単位	第4セメスター	単位	第5セメスター	単位	第6セメスター	単位	第7セメスター	単位	第8セメスター	単位	
共通教養科目	外国語分野	Communicative English I	1	Communicative English II	1	Practical English I	1	Practical English II	1									8
		Reading I	1	TOEIC	1	Reading II	1	Reading III	1									
		入門中国語 I	1	入門中国語 II	1	応用中国語 I	1	応用中国語 II	1									6
		基礎中国語 I	1	基礎中国語 II	1													
	数理・情報分野 自然分野 社会分野 人文分野 総合	教養数学、情報倫理、プログラミング、情報リテラシー・入門、情報リテラシー・応用 物質の科学、生物の科学、科学と社会、自然環境と地理 歴史学、考古学、地理学、経済学、憲法学、ジェンダー論 哲学、論理学、スポーツ文化論、文学、日本語学、言語と文化 総合科目 キャリアデザイン基礎論 等																28
スポーツ・健康分野			スポーツ・健康演習	2														2
専門教育科目	学部共通科目	文学部総合研究	2											卒業論文			8	14
		入門講義(歴史・地理学)	2	入門演習(日本史学)	2													
	演習科目					歴史・地理学演習 I	2	歴史・地理学演習 II	2	歴史・地理学演習 III	2	歴史・地理学演習 IV	2	歴史・地理学演習 V	2	歴史・地理学演習 VI	2	12
	基幹科目					日本史学講読A	2	日本史学講読B	2	歴史・地理学特殊講義B	2	歴史・地理学特殊講義A	2					14
								日本史学講読C	2	歴史・地理学特殊講義C	2	歴史地理学特殊講義G	2					
	展開科目			歴史学総論	2	日本考古学 I	2	日本考古学 II	2									8
								芸術史	2									
学部共通科目・基幹科目・展開科目・関連科目・他学科科目			地理学総論	2	博物館概論	2			地域分析	2							14	
					日本民俗学	2	日本史史料学	2	日本文化史 I	2	日本文化史 II	2						
自由選択	共通教養科目・専門教育科目・他学部科目					自然地理学、ヨーロッパ文明史Ⅰ・Ⅱ、歴史地理学、多文化共生論、地域資源論、GIS概論、外国考古学Ⅰ・Ⅱなど												18
合 計			-		-		-		-		-		-		-		-	124

卒業要件(卒業必要単位:124単位)
1 共通教養科目は、次の定めるところにより、合計44単位以上を修得しなければならない。
(1) 外国語分野 必修外国語として第1外国語8単位、第2外国語6単位、計2か国語14単位
(2) 数理・情報2単位、自然・社会・人文分野各4単位を含め、数理・情報、自然、社会、人文分野及び総合全体の中から28単位
(3) スポーツ・健康分野 2単位
2 専門教育科目は、次の定めるところにより、合計62単位以上を修得しなければならない。
(1) 学部共通科目14単位
(2) 演習科目12単位
(3) 基幹科目14単位
(4) 展開科目8単位
(5) 学部共通科目・基幹科目・展開科目・関連科目・他学科科目から14単位
3 上記のほかに、共通教養科目、専門教育科目及び他学部科目の中から18単位以上を修得しなければならない。